

心の絆を育てよう

～子育て教育講演会～



▲会場は参加者でいっぱい

絆が結ばれているという実感が子どもの心に育っているかどうかによる。

◆縦のつながり

父母、祖父母・と10代さかのぼると1024人の命が見えてくる。普段生活していると横のつながりばかりが目がいくが、私たちの生活は縦のつながりによって支えられている。縦のつながりが見えにくいと、自分は一人でも生きていけるといふ錯覚が生じる。

また、縦のつながりが薄いと本当の自分が見えず、生きる目的がわからなくなってしまう。

◆相手の良いところを探す

11月12日(土)に保健福祉センターなわで、松阪市中心の支援センター教育カウンセラーの田中正人先生を招いて子育て教育講演会を行いました。演題は「心の温度が上がる家庭、学校、地域」心の絆の育成」。当日は70人を超す人が参加しました。講演後には、「どんな目的を持って子どもを育てるのか、自分の頭の中で整理できた」といった感想も。部分的ではありますが講演内容の一部をご紹介します。

◆絆を育てることの大切さ

子どもの問題の本質は、子どもの自己評価の極端な低さにある。社会が物質的に豊かになった反面、自己評価は下がってきている。親や先生の心に余裕がなくなり、自分を受け止めてもらいにくくなると、両者間の絆が細くなり自己評価の低下につながる。

また、生きていく上での意欲や力は、

心を元気にするためには、つながりを育て、その中で自分自身を見つめなおす。自分の持っている力を周りの人のために使い、周りから評価されること、自己評価につながる。そして、自分を発見したり磨いたりして自己評価を高め、生きることを目的を認識することが大切である。

剣道でさわやかな汗

片木杯 青少年育成剣道大会



▶200人の小中学生が技を競い合いました



▲町長に寄付金を手渡す片木社長(右)

12月4日(日)、大山中体育館を会場として青少年育成剣道大会が行われました。

この大会は、町内の(株)片木アルミニウム製作所(片木威社長)からの寄付により運営されているもので、今回で23回目を迎えます。

大会には鳥取県西部から200人を越える小中学生が参加して日ごろの鍛錬の成果を競い合い、上位入賞者には同製作所オリジナルのアルミ加工の盾が贈られました。

また大会終了後には合同練習が行われ、参加者はさわやかな汗を流しました。

トップアスリートから学ぼう!

～バドミントン・アスリート教室～

総合型地域スポーツクラブ「スポーツしよい大山」では、県内外で活躍する選手を講師に迎えて、練習・交流を行うバドミントン・アスリート教室を開きます。

日時 1月14日(土)
13時30分～

会場 名和農業者トレーニングセンター
講師 清水隆志氏(鳥取敬愛高校教諭)他
参加料

クラブ会員・中学生以下	100円
一般	200円

申し込み

参加を希望の方は、町内各公民館に備え付けの申込書に参加料を添え、スポーツしよい大山事務局(名和公民館内)にお申込みください。

申込締切 1月10日(火)